

魅惑の宵

三浦一馬 Bandoneon
松本和将 Piano
黒川侑 Violin

ドビュッシー：月の光

プーランク：城への招待

ピアソラ：アディオス・ノニーノ

ピアソラ：リベルタンゴ

その他

(全編曲：三浦一馬)

2019年

6/29 土

18:00 開場 18:30 開演

前売 4,000円

ルネスホール 岡山市北区内山下1-6-20

当日 4,500円

チケット販売

ルネスホール 086-225-3003 シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010 アンテゾールクラシカ 086-224-6123

お問い合わせ

ひまわりチャリティー・一般財団法人サンフラワー基金 086-224-1345/090-5374-0003 (藤原)/090-1016-0044 (堀川)



三浦 一馬 MIURA KAZUMA



1990年生まれ。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、自作CDの売上でアルゼンチンに渡航。現在に至るまで師事。

07年、井上道義・神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演でマルコーニのバンドネオン協奏曲《Tangos Concertantes》を日本初演。

このオーケストラ・デビュー以降、国内の主要オーケストラと共演を重ねている。

08年10月、イタリアで開催された第33回国際ピアノ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。11年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、アルゲリッチやバシュメットら世界的名手と共演、大きな話題と絶賛を呼んだ。12年にはマルコーニと東京・兵庫・名古屋で共演を果たし、白熱した演奏で聴衆を沸かせた。15年出光音楽賞(14年度)を受賞。16年にはデビュー10周年を迎え、7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でバカロフ作曲「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。

17年、自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を結成、同年11月には埼玉県「久喜市くき親善大使」に就任。2018年10月24日キングレコードより、全編ピアノソラ作品によるキンテート(五重奏)編成の最新盤「Libertango」をリリース。

同年12月1日から公開のドキュメンタリー映画「ピアノ 永遠のリベルタンゴ」の広報大使を務める。

現在、若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。

使用楽器は、マルコーニより譲り受けた銘器、1938年製「Alfred Arnold」。

松本和将 MATSUMOTO KAZUMASA

幼い頃よりピアノに目覚め、高校在学中に「ホロヴィッツ国際ピアノコンクール」第3位など、国内外のコンクールで上位入賞。1998年19歳で「第67回日本音楽コンクール」優勝。併せて増沢賞はじめ、全賞を受賞。2001年ブゾニ国際ピアノコンクール第4位、2003年エリーザベト王妃国際音楽コンクール第5位入賞。

これまでにプラハ交響楽団、プラハフィル、ベルギー国立オーケストラ、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京フィルなど、多くのオーケストラと共演。2009年から3年連続のオールショパンプログラム全国ツアーを行い、2016年より「松本和将の世界音楽遺産」と名付けたリサイタルシリーズを開始。室内楽にも積極的に取り組み、イザベル・ファウスト、前橋汀子、宮本文昭など多くの名演奏家と共演。2010年より上里はな子、向井航とピアノトリオを結成し、2012年には東京、京都、広島を始めとする6都市で全国ツアーを行い、2016年には京都フィルとベートーヴェンの三重協奏曲を共演。

これまでに2枚のレコード芸術特選盤(「展覧会の絵」「後期ロマン派名曲集」)を含む18枚のCDをリリース。

東京芸術大学非常勤講師(2008~2012)、くらしき作陽大学特任准教授、名古屋音大ピアノ演奏家コース特任准教授として、後進の指導にもあたっている。

公式HP: <http://www.kaz-matsumoto.com>

公式ブログ: <http://www.kaz-matsumoto.cocolog-nifty.com>



黒川 侑 KUROKAWA YU



2006年日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)他3つの特別賞を受賞。

2015年ルドルフォ・リビツァー国際ヴァイオリンコンクールでAnna Piciulin特別賞、2016年仙台国際音楽コンクールで聴衆賞を受賞。これまでにスイス・ロマン管弦楽団、スペイン国立管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団など国内外のオーケストラとの共演、リサイタルなど多くの演奏会に出演。

京都市交響楽団定期演奏会(広上淳一氏指揮)での演奏がCD「名曲ライブシリーズ」に収録された。また国際音楽祭ヤング・ブラハに招待され、ファイナルコンサート(ドヴォルザークホール)で、ブラハ室内交響楽団と共演。その後再度招待され、ワルトシュタイン宮殿を始め、チェコ各地で演奏会に出演して高い評価を受ける。

ウィーン、ブリュッセルで研鑽を積んだ後、桐朋学園大学院大学(修士課程)修了、現在エコール・ノルマル音楽院で勉強を続けている。

工藤千博、P.ヴェルニコフ、漆原啓子、堀米ゆず子、藤原浜雄、S.ルセフ、F.シゲティの各氏に師事。

倉敷市芸術文化奨励章、岡山芸術文化賞グランプリ、音楽クリティック・クラブ賞奨励賞、京都府文化賞奨励賞、京都市芸術新人賞、青山音楽賞、出光音楽賞を受賞。

一般財団法人 サンフラワー基金の活動

当法人は、2002年からドメスティック・バイオレンス(以下「DV」)被害者の自立支援・促進することを通じて性別や立場などによる差別のない、誰もが自分らしく生きていける社会づくりを目的としています。

経済的支援(返済不要)

① 緊急一時保護

DV被害者から岡山市男女共同参画相談支援センターへ緊急保護の連絡を受けた後、保護した方の食料・着替え・相談時の託児料・乳幼児のミルク・おむつ等を支給。

② 自立支援金

DV被害者が自立する際の支援金として5万円を支給。子ども一人につき5,000円を加算する。

③ 保育園入園準備金

乳幼児を持つDV被害者の自立支援として保育園入園のための準備金を一人につき15,000円を支給。

DV防止のための啓発活動

① チャリティー講演

② コンサート

③ その他